

区政のここが聞きたい

第3回定例会一般質問(要旨)

9月25・26日



※本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会及び予算・決算特別委員会の録画映像を、区議会ホームページで公開しています。

夢あふれる豊島の
未来の為に、今何
ができるか！



自民党豊島区議員
池田 裕一



●令和五年度決算について

問 5年度決算について、高
区長自身の評価は。

答 不合理な税制改正の影響が
広がった中でも、区民生活支援
に積極的に取り組みつつ、歳出
・歳入・基金残高のいずれも、
財政の健全性を堅持することが
できた決算と認識している。

問 5年度は物価高騰に対し
確に様々な支援をしてきたが、
今後も先を見通すことのできな
い物価高騰への区の対策は。

答 社会経済状況の変化を注視
し、これまで以上に区民の皆
様の声、ニーズの把握に努め、
対応すべき施策に取り組んでい
く。

問 新たな学校改築方針など、
将来にわたる改築・改修需要を
支える財政基盤の構築に向けて、
どのように取り組んでいくのか。

●住宅施策について

問 住宅確保要配慮者に対する
住宅の提供は重要課題であり、
文京区のすまいる住宅登録事業
と同様の取組を行うべきと考え
るが、区の見解と考える。

答 入居者、住宅オーナー、不
動産店三者がメリットを感じら
れる効果的な事業であり、文京
区の取組成果などを踏まえ効果
的な支援を検討していく。

●商店街振興について

問 区民や商店街、事業者にと
って、物価高騰に対して有効的
であるプレミアム付地域商品券
事業の来年度以降の見通しは。

答 消費意欲が向上されるなど、
区にとっても有益な事業である
と考えており、来年度も引き続
き実施していく。

問 巣鴨四丁目児童遊園の整備
計画と工期を改めて伺いたい。

答 巣鴨地蔵通り商店街会館と
連携したイベントなどが実施可
能な広場空間を確保し、来街者
の憩いの場となるよう整備する。
11月下旬完成を予定している。



プレミアム付地域商品券

●防災対策としての施設整備に ついて

問 直近で改築計画がない学校
施設においては、エレベーター
を設置し、万一の災害の際、高
齢者、障害者でも安心して避難
できる体制をとるべきでは。

答 既存校への設置は、必要な
面積の確保や耐震上の問題もあ
り困難なため、長寿命化改修な
どを行う際に積極的に検討する。

●ごみ排出対策について

問 二次電池による火災発生防
止のため、二次電池を区の小型
家電回収場所でも回収できると
適正な排出につながるのでは。

答 安全・安心なまちづくりの
ため、小型家電回収拠点でも回
収できるよう検討していく。

●巣鴨の街づくりについて

問 巣鴨駅前の冠水被害につい
て、下水道局と区の話し合いの
内容、結果並びに今後の対応は。
答 昨年11月に調査依頼の要望

誰もが暮らしやすい
人が主役の魅力ある
まちに



公明党
高橋 佳代子



●防災対策について

問 耐震化加速のため、今後ど
のように取り組むのか。

答 戸別訪問、広報としま等に
よる意識啓発の強化や耐震改修
助成金の上乗せを検討する。

問 集合住宅の防災対策に区が
関われる仕組み作りと防災対策
強化体制の構築が重要。見解は。

答 転倒防止器具の必要性の周
知や防災対策への補助等、マン
ション管理組合と連携して区が
関与する仕組みを作り、共に防
災対策強化への方策を検討する。

問 シン・オートコールの有効
性及び今後の導入の考えは。

答 区が導入済みの安否確認方
法と並行して活用することで、
効率化が格段に増加すると考え
る。周知方法を含め検討する。

●福祉施策について

問 生きづらさを抱えた子ども
や若者への伴走型支援と学校だ
けでは支えきれない課題の重層
的支援を実現する方法は。

答 早期かつ的確に相談支援に
繋げるため、学校と地域の橋渡
しを効果的にを行い、積極的な
アウトリーチ活動の強化を推進。

問 家庭環境の問題は、学校だけ
なく児童相談所等による関係者
会議等において共有・課題整理
を行い、福祉部署等を交えて分
野横断で重層的な支援を進める。

答 重度障害者が入所可能なグ
ループホーム整備を検討しては。
問 喫緊の課題と受け止め、区

書を提出し、7年5月頃まで下
水道局にて浸水対策の検討を行
う。その後、下水道局と連携し
対策を進める予定である。

施設の再構築を進める中で整備
に適した土地の選定等を進める。

問 区立保育園改修時等に医療
的ケア児の受入れ施設を拡大す
べき。区の考えは。

答 施設改修と人材の確保・育
成両面での体制整備に取り組み、
今後も区立保育園の改築等に併
せて受入れ施設の拡大を進める。

問 高齢者の就労に対する区の
考えと今後の取組は。

答 経済面だけでなく生活の質
の向上に寄与する重要な課題と
認識。就労に関するニーズを把
握し、関係機関や民間企業等と
連携し、高齢者の就労や支援の
在り方について検討する。

豊島区の現在・過
去・未来



立憲・れいわ
さくま 一生



●ソメイヨシノをはじめとする
桜のブランディングと保全につ
いて

問 「ソメイヨシノの故郷」とい
う駒込のブランドを高めるため、
豊島区の特徴的な名所を選定し
たうえで、桜を重点的に管理す
ることを提案するが、所見は。

答 選定はせずに、駒込エリア
全域を桜の名所としてのブラン
ディングのもとに発展させたい。

●医療的ケアが必要なお子さん について

問 まずは公立保育所が医療的
ケア児を積極的に受け入れる必

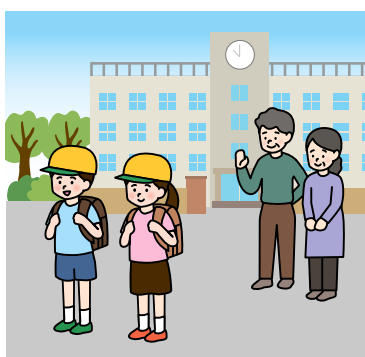
問 市民後見人のサポート体制
の在り方や専門相談の充実の検
討について、区の見解は。

答 弁護士相談や後見業務マニ
ユアルの作成等、サポート体制
を充実させている。引き続き社
会福祉協議会と連携して区民後
見人の活躍支援に取り組む。

●教育について

問 小学校の早朝預かりや帰宅
時見送り等の実施を検討すべき。

答 アンケート結果や要望を踏
まえ、働く保護者の負担軽減の
ため、朝の預かり及び帰宅時の
見送りの早期実施ができるよう
学校等と調整を進める。



帰宅時の見送り



移動支援の検討を

遠方に通園する子どもと家族のため、移動支援をすべき。

課題の一つと認識。区立保育園にて自家用車の一時駐車スペースの整備を進めている。今後、本区の実情に即した実現可能な支援策を検討していく。

●染井通りの無電柱化について

大災害への備えの重要性が増すなかで、無電柱化の優先順位は高いと思うが、区の見解は。

染井通りは防災上重要な路線だが、多くの埋設物があり、

整備を進めるには厳しい状況。技術革新の動向を勘案しながら、優先順位を判断していく。

●居住環境整備事業で取得した広場について

「染井コミュニティ広場」は、イベント時にも使いやすい広場として再整備可能か。

拡張用地と既存の広場を一体的に整備することで、電気や水道設備の設置を前提に、イベント時に使用しやすい空間になることが期待できる。

●令和5年度決算について

令和5年度決算の総括について区の考えは。

当初予算で計画した事業の着実な実施、補正予算編成による積極的な区民生活支援により、未来に向けて新たな第一歩を踏み出すことができた決算。

●家庭系廃食油の回収

区内でできるだけまんべんなく回収拠点を設置することが望ましいが、区の方針は。

区有施設を最大限活用する方針だったが、今後は利便性を考慮し、町域ごとに最低1拠点の設置ができるよう検討する。

●マンガ・アニメを活用した文化振興策

トキワ荘マンガミュージアムの最寄り駅3駅からの動線上に、施設までのサインを充実させるべき。また英語の併記も必要だと思うが、区の考えは。

トキワ荘らしい道案内の仕方を外国語表記も含めて工夫したいと考えている。地域の皆様とも協議のうえ、アナログ・デ

デジタル両面から検討を進める。

●新たな学校改築方針

校舎一体型小中連携校での校庭の確保、教室・管理棟の床面積確保への見直しと考える。

小学校と中学校で独立した校庭の整備に向け、他自治体の事例等を参考に検討していく。

教育活動に必要な諸室を確保するため、施設の共用化など、敷地を最大限に有効活用する。総合体育場の管理棟やスポーツ施設についても、可能な限り効率的な配置を検討していく。

校舎一体型小中連携校と、同一中学校区の小学校との間に、小中連携で極力格差を生まない

ための区の方針と考える。

小中連携連絡協議会を設置。各中学校ブロックの取組の情報交換や事例の効果検証を行い、小中連携教育を推進していく。

●仮校舎にも、ICT機器や備品等を改築校と遜色なく整備すべきと考えるが、区の見解は。

改築校と同等レベルのICT環境を確保していく。

総合体育場代替施設確保の状況は。再整備後の野球場は現行通り2面確保できるか。

代替施設として、旧真和学校や旧朝日中学校に加え、テニスコートやグラウンドを有する区内の大学や高等学校に貸出しの協力依頼をし、理解をいただきたい

誰ひとり取り残さない豊島区政を現実のものに

我が党が実施した区民アンケートでは、生活について86%が苦しいと回答している。積極的な財政出動を行ったというが、生活に苦しむ区民にどう反映させ、何が足りなかったと認識しているか。

コロナ禍や物価高騰が続く中、必要性を判断し、スピード感を持って取り組んできた。今後も、優先順位を判断し、進めべき支援策を検討していく。

●区民要望の施策拡充

災害時の個別避難計画作成に向けた対応策及び、未回答、未確認、不同意者への対策は。

福祉事業者の協力や町会、民生委員等による働きかけ等により、計画作成を進める。

安心住まい提供事業の拡充を見送った理由は。また、住み

ている。再整備後も2面の野球場の敷地を確保していく。

●学校プールの管理のあり方

自動で給水を止めるシステムは備えているか。備わっていない学校には導入すべきと考えるが、区の見解は。

現在13校に備えている。今後の学校改築や大規模改修で積極的に導入を進め、教員の負担軽減に繋げていきたい。

●学校給食費の予算

当初予算編成時に想定しきれない原価上昇は補正予算で対応すべきと考えるが区の見解は。

想定を超える物価高騰では学校給食維持のため、補正予算を含む予算上の措置で対応する。

●令和5年度決算について

経常収支比率が改善した背景には、人件費の削減も寄与したと考えるが、区の評価は。

人件費減少の主な要因である退職手当は、定年退職年齢の段階的引き上げ期間中は増加と減少する年度が交互に訪れる。その影響を除くと決して楽観視できるものではないと考える。

●住宅宿泊事業（民泊）等について

民泊に対する住民の不安や苦情への対応状況と無許可営業への指導・監視等の現状は。

住民からの通報には速やかに対応している。無許可営業には、速やかに現場確認を行い、事業者との接触を図っている。

●まちのゴミ対策について

ゴミが散乱する原因の分析とそれに基づいた対応策の強化を行っているか。

散乱の原因は出し方の問題であると考え。引き続き「ゴミ捨てマナー」の周知・啓発、場合によって訪問による指導を行う。

「SmaGO」はゴミ問題

も、教育委員会と連携を図り、必要な財源の確保と教員の働きやすい環境づくりを進める。

●新基本計画策定について

新基本計画が区民の需要に根差し、その指標が需要を満たす方向と目標になっているか。

様々な手法を組み合わせて、区民の声を積極的に把握する。指標の設定は、過去の事業実績や傾向、今後の区民ニーズ等を分析、検討したうえで決定する。

解決の新しいアプローチと考えるが、導入について区の考えは。

区としては、まず地元の主体的な取組が必要と考える。家庭ごみの持ち込みや、たばこの投げ捨てによる火災等も懸念され、費用対効果も十分勘案する必要がある。



トキワ荘マンガミュージアム



安心して住み続けられるまちに

物価高騰で苦しむ生活保護

世帯への法外援護及び低所得者への物価高騰対策を拡充すべき。

生活保護世帯への新たな法外援護は慎重な判断が必要。また、低所得者への物価高騰対策は、国による給付金もあるため、現時点で拡充は考えていない。

●令和5年度決算について

経常収支比率が改善した背景には、人件費の削減も寄与したと考えるが、区の評価は。

人件費減少の主な要因である退職手当は、定年退職年齢の段階的引き上げ期間中は増加と減少する年度が交互に訪れる。その影響を除くと決して楽観視できるものではないと考える。

●住宅宿泊事業（民泊）等について

民泊に対する住民の不安や苦情への対応状況と無許可営業への指導・監視等の現状は。

住民からの通報には速やかに対応している。無許可営業には、速やかに現場確認を行い、事業者との接触を図っている。

●まちのゴミ対策について

ゴミが散乱する原因の分析とそれに基づいた対応策の強化を行っているか。

散乱の原因は出し方の問題であると考え。引き続き「ゴミ捨てマナー」の周知・啓発、場合によって訪問による指導を行う。

「SmaGO」はゴミ問題

も、教育委員会と連携を図り、必要な財源の確保と教員の働きやすい環境づくりを進める。

●新基本計画策定について

新基本計画が区民の需要に根差し、その指標が需要を満たす方向と目標になっているか。

様々な手法を組み合わせて、区民の声を積極的に把握する。指標の設定は、過去の事業実績や傾向、今後の区民ニーズ等を分析、検討したうえで決定する。

解決の新しいアプローチと考えるが、導入について区の考えは。

区としては、まず地元の主体的な取組が必要と考える。家庭ごみの持ち込みや、たばこの投げ捨てによる火災等も懸念され、費用対効果も十分勘案する必要がある。



維新・無所属
林 二葉



スマートゴミ箱 (SmaGO)

●給付金等のATMを活用した現金受取サービスについて

各種給付金等を迅速・便利に受け取れるコンビニATMを利用した受取サービスの導入を検討しては。

他自治体で導入され始めたことは承知している。現在、事業者との連携の手法や会計処理の方法等を研究している。

豊島区の子たちが、暑・ス
ー・着等の活動体験を通じた豊
富な外遊びで視野を広げられるよう、
区としてのサポート体制の構築を！



無所属元気の会
小林 弘明



子どもたちの成長を支援する。

●長期休暇期間を含む、様々な
外遊び・活動体験メニューの充
実および活動体験格差の解消サ
ポートについて

問 豊島区子ども若者応援プロ
ジェクトの体験機会提供の実施
状況は。

答 今年度は、無料の子ども寄
席を2回開催し、100名の定員を
超える多数の申込みがあった。
今後も、体験機会を提供し、子

共に支えあう、豊
島の未来。



自民党豊島区議団
有里 真穂



子ども寄席イベント

●豊島区の将来と方向性につい

て

問 基本構想・基本計画実現の
ための財政基盤の強化や事業再
構築、人材育成と職員定数の適
正化、デジタル技術への認識と
今後の方向性は。

答 どの取組も欠かせない。基
金・起債の計画的活用、常に区
民目線で困難な課題を自ら解決
できる職員の育成、職員定数を
適宜見直し、DX推進に向けた
職員のスキル向上等を進める。

●高齢者に優しいまちづくり
について

問 在宅医療体制の充実に向け
た支援体制と、今後の取組は。

答 医療DXを用いた24時間診
療体制の構築は7年度で一定程
度完成する見込み。この体制の
維持・充実を検討していく。

問 孤立死が増加する中、单身
高齢者が最後まで住み続けられ
るための今後のサポート体制は。

●文化施策について

問 千早地域文化創造館建て替
えへの区民や様々な年代の方や
文化団体の要望は、今後の運用
にどのように反映させるか。ま
た、リニューアル後の特徴は。

答 既存利用者以外も対象にワ
ークショップを実施し、意見を
施設運営に反映していく。新機
能としてエレベーターの設置や
展示ギャラリー等を配置する。

問 新しい千早図書館は、様々
な意見やアイデアを積極的に取
り入れ、長く地域に親しまれる
魅力的な図書館にしてほしい。

答 区民の期待に応える魅力的
な図書館を整備していく。

問 千早地域文化創造館、千早
図書館、千早二丁目公園は一体
的な施設整備が求められるが、
どのように連携を行っていくか。

誰一人取り残さな
い、やさしさあふ
れる豊島の街づく
り



公明党
北岡 あや子



現在の千早地域文化創造館

問 文化芸術に力を入れている
各施設の特徴を生かし、相互に
連携できる形を強化する。公園
では、各施設が主催する館外イ
ベント等の取組を検討したい。

●公園について

問 区として小さな公園の在り
方を今後どのようにしていくか。

答 憩い、遊び、交流等、各公
園の機能の役割分担を考え相互
補完できる公園づくりを目指す。

●防災震災対策について

問 気象防災アドバイザーは専
門性の高い助言を行い、情報発
信や防災意識向上のための講座
の開催など、区独自の災害対策
に必要と考えるが区の方針は。

答 現在、気象庁東京管区気象
台と24時間の連絡体制や、ホッ
トラインを構築しているが、今
後は区民向け講座や訓練へ講師
を招くことなどを検討する。

問 初動救助は命を救う上で重
要。地域の防災ボランティアに
よる救助体制が必要では。

答 初動対応が対象の登録制度
の構築や、救命救助活動に資す
る研修等の在り方を検討する。

問 区内企業との連携など、災
害ボランティアの登録数増加に

問 基本構想審議会でのいじめ対
策の重要性が議論されていると
聞くが、対策強化への見解は。

答 研修によりいじめについて
の共通理解を図る。また、初期
対応強化のために区独自のフロ
ーチャートを作成し、組織的に
確実な対応を行えるようにする。

問 ICT教育について、教育
委員会と学校が一体となり取
組むべきだが区の見解は。

答 学校のニーズや課題等を常
に共有できる体制を整え、主導
性を發揮して具体的な方向性を
学校とともに検討していく。

問 積極的なリーディングDX
スクール事業への取組を要望す
るがいかがか。

答 ICT導入期を終えた今、
ICTを活用した授業づくりや
校務の効率化など、学校の現状

生きてるだけで価
値がある、としま
のまちづくりへ



立憲・れいわ
塚田 ひろこ



学校で使用しているタブレット端末

●トキワ荘通り周辺の街づくり
について

問 コンセプトを設け統一性を
示してはどうか。また今後のま
ちの活性化に向けた考えは。

答 「昭和レトロの雰囲気」を
コンセプトとして大事にしつつ
今後も回遊性と活気にあふれる
まちづくりを進める。

●区民参画とまちづくりについ

て

問 無作為抽出による大規模な
区民ワークショップの意義と目
的は。また、区民との対話から
どのようなことを受け止めたか。

答 まちづくりに積極的に参加
するきっかけとなることを期待
する。区民の声をより積極的に
把握することが必要と考える。

問 豊島区自治の推進に関する
基本条例の現在の位置付けと基
本構想、基本計画の関係及び、
それを基本構想の冒頭に明示す
る必要性について区長の考えは。

●福祉政策について



新デザインのポスターを作成

問 福祉に特化した総合窓口案
内コーナーを設置し、庁内のこ
とを把握している、再任用の適
任職員を「コンシェルジュ」と
して配置いただきたい。

答 福祉総合フロアのプロアマ
ネーチャーが内容に応じて案内
をしている。必要に応じて関係
部署をつなぐことが効果的であ

るため、コーナ―を設けること、コンシェルジュの配置はしない。

問 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの進捗状況は、また、ワークショップの様子、実施から見えた地域課題、当事者の声について、区の考えは。

答 今年度はより実態に沿った地域課題の抽出を目指す。課題

多様な人材が活躍 できる街、豊島区 を目指して



都民ファーストの会・国民
原田 たかき



●公契約条例について

問 公契約条例の望ましい内容について、区の考えは。

答 IL094号条約型を基本とし、区実施の労働条件等調査の実績を踏まえ、区内事業者と丁寧な意見交換を重ねながら、公契約条例の早期制定に向けた準備を進めてまいりたい。

●相続・死後事務支援について

問 おくやみコーナーを専門家による相談窓口として再構築する提案及び専門家との短時間のオンライン面談を支援メニューに追加する提案への区の見解は。

答 現状、職員が対応することのメリットが大きいと考えているが、専門家相談の連携は必要。専門士業の予約時間等の利便性の向上や、協力を得られる方策について検討していく。

●外国人政策について

安心して暮らせる ケアに手厚い豊島 区政に



日本共産党
小林 ひろみ



●高齢者、障がい者、保育施策の拡充について

問 特養ホームの待機者は今年6月末で465人。特養ホームの具

は地域支援協議会全体で解決に向けた取組を検討する。

問 生活保護受給検討者への啓発や助けとなるポスター等を作成し、困った人に寄り添ったものに改訂すべき。

答 相談・申請のリーフレットを区施設に配置、HPに掲載予定。HPも年内に刷新する予定。

問 外国人材の力を地域の活性化に向けて積極的に活用する政策への区の見解と今後の方針は。

答 外国人住民が活躍できるよう、地域コミュニティや区政への積極的な参画が重要。今後もタウンミーティングや異文化理解事業、交流イベント等への支援を行い、外国人の方が持つ強みや独自の視点・発想が区政や地域活動に活かされる、共創によるまちづくりを進めたい。



外国人材の力で地域活性化

進めている。特養施設長会と待機者名簿の精度向上に向け、検討を進めており、今後も意見交換を行う。

問 保育園の保育の質を確保し、安定した運営となるよう、欠員補助を年度末まで支給せよ。

答 減収補助の見直しは考えていない。

問 区内の福祉施設で働きたい人が増えるよう、合同入職式・表彰式の実施やパワハラ・セクハラ・カスハラ相談窓口の設置検討をすべき。

答 福祉施設での合同入職式・表彰式の実施については、事業の実施時期や事業者の意向を踏まえ、他自治体の取組と成果も見極めて検討している。また、ハラスメントの相談窓口については、東京都社会福祉協議会設置の相談窓口を案内しており、現時点で区に設置の考えはない。

問 「超短時間雇用モデル」について、サンシャインシティとの雇用モデル実証実験のための協定の今後の方向性は。誰もが社会、地域とつながれる豊島区の実現を。

答 実証実験により把握した課

過去の事象から謙 虚に学び、未来へ と繋げていく豊島 区となろう！



維新・無所属
ふるぼう知生



●子育て施策について

問 流入に依存せず人口が維持できる街、人口が自然増となる区となるために、どのような施策が必要と考えるか。

答 子育て支援のみならず、安全・安心の確保、福祉・健康施策、文化振興等による賑わい創出などの施策を、総合的に展開していくことが重要である。



子育て施策について



「みどり」のまちづくり

題を一つ一つクリアしながら、本格導入を目指す。

●会計年度任用職員について

問 会計年度任用職員の更新限度の撤廃を求める。

答 今年度から更新限度を撤廃することとし、公務公共一般労働組合に提案した。今後、他の職員団体にも提案するとともに、規則改正等の準備を進める。

●「みどり」のまちづくりについて

問 学術論文による樹冠被覆率の減少要因の分析を。また、基本計画等に樹冠被覆率の目標値を持つべきではないか。

答 緑被率とみどり率の2つを指標とし、緑の量を的確に捉えることができるため、新たな指標を加えることは考えていない。

問 子育て支援施策全般にわたる今後の施策の展望や方向性は。

答 切れ目のない出産・子育て支援策をより、きめ細やかにできるよう努めるとともに、子どもたちの成長の段階に応じて関わりあう課題について、組織横断、連携した取組を強化する。

つ、中長期的視点に基づく計画的な財政運営に努める。

●公益通報制度について

問 公益通報対応義務従事者を定める義務と必要体制の整備その他の必要な措置をとる義務の決定時期及び方法は。

答 平成18年に作成した豊島区公益通報処理ガイドラインに定め、運用している。

新たな課題と政策 の着実な推進に向 けて



立憲・れいわ
宮崎 けい子



●子育て政策について

問 本区の男性育児支援の考え方や方針、そしてその理念をどのように広めていくのか。

答 育児しやすい環境整備が必要である。男性育児支援事業の情報一元化に取り組み、民間支援団体との連携を深める。また、父子手帳の配付、HPやSNS等での情報発信を強化する。



男性育児支援の充実を

●高齢者の社会的孤立について

問 孤立防止のため、区内で活

動する事業者と協定し着実に成果も出ていると聞く。具体的な成果とその評価、今後の課題は。

答 32事業者と協定を締結。高齢者総合相談センター等の重層的な見守りにより、相談・支援につなげる体制ができています。今後、より効果を高めるため、関係者間協議・情報交換を行う。

●長崎村のまちづくりについて

問 駅前も生まれ変わり、トキワ荘等の誕生により観光資源も備わってきた。これらを繋ぐ商店の増が鍵である。空き店舗対策への課題感。今後の展開は。

答 商店街は地域の安全安心に寄与し、コミュニティの場として重要な役割を担っている。空き店舗対策や開業に向けた物件が少なく、探しにくいことが課題であり、地域に詳しいコーディネートとの連携を強化する。